

## 第 28 期東京都立図書館協議会について

### 1 協議テーマ（案）

#### 「これからの都立図書館に必要な利用環境について －多様な学びや活動を支える機能－」

第 27 期東京都立図書館協議会において、都立図書館は、2020 年のオリンピック・パラリンピック競技大会を契機に「世界都市・東京を支える情報センター」を目指すべきであるとして、「サービス」「広報」「利用環境」の視点から、提言が示された。

これを受け、第 28 期ではこれからの都立図書館の「利用環境のあり方」についてさらに協議を行う。

### 2 協議の視点

#### （1）多様な学習形態や利用スタイルに応じた利用環境

学校教育や社会教育においては、個人で学びを深めていくほか、対話型・グループ型の学習形態が広がりを見せている。今後はさらに新たな学習形態が出てくることも考えられる。

また、観光等で東京を訪れ、都立図書館に来館される方に対しては、気軽に、かつ、わかりやすく利用できる環境を整えていく必要がある。

このように多様な学習形態、利用スタイルに応じた利用環境について協議を行う。

#### （2）誰もが快適に利用できる環境

時間・地理・身体・使用言語等の様々な観点から、現在都立図書館を十分に活用できていない人々を含め、「滞在型の図書館」としてより多くの方に利用していただくために必要な利用環境について協議を行う。

### 3 協議の方法

協議内容に応じ、作業部会を設置し、定例会に向けた実質的な協議と、提言とりまとめのための資料調整を行う。

【作業部会設置案】※部会名は仮称

<b>学習・利用形態部会</b>
松本直樹委員（部会長）・鎌倉幸子委員・坂口雅樹委員・中井孝幸委員
<b>利用者属性部会</b>
松本直樹委員（部会長）・内田剛史委員・川原田康子委員・富澤良子委員

#### 4 協議スケジュール（案）

年月	定例会	作業部会
29年度 7月	<b>第1回</b> 協議テーマの決定 協議の進め方及び作業部会設置の決定	
9月		「学習・利用形態」（仮称） 第1回作業部会
11月	<b>第2回</b> 「多様な学習・利用形態等に 応じた利用環境」について 協議	
1月		「学習・利用形態」（仮称） 第2回作業部会
2月	<b>第3回</b> 「多様な学習・利用形態等に 応じた利用環境」について 協議	
30年度 5月		「利用者属性」（仮称） 第1回作業部会
6月	<b>第4回</b> 「誰もが快適に利用できる 環境」について協議	
7月		「利用者属性」（仮称） 第2回作業部会
9月	<b>第5回</b> 「誰もが快適に利用できる 環境」について協議	
10月		合同作業部会
12月	<b>第6回</b> 提言（案）について協議	
1月		合同作業部会
2月	<b>第7回</b> 提言の確定	